

2026年度 家庭科シラバス

教科	家庭科	科目	家庭基礎	単位数	2	学年	1
学科・コース	普通科 特進コース、総合キャリアコース、英語コース、看護医療進学コース、幼児教育コース、スポーツコース、音楽コース						
教科書	家庭基礎 自立・共生・創造 (東京書籍)	副教材	なし				
科目の概要	高校生が自分の暮らしや人生を、深く真剣に考えるためには、自分を知り、自分を受容することが大切である。 「生きること」について学び、自分らしく生きるためにまず、「生活の現状を知る」「生活課題を明らかにする」「実践的に学習する」「新しい生活を創造する視点をもつ」ことを目標とする。そこで、もう一度日常生活で自分自身にできること、生活を見つめ直し、将来自立して生活できるための知識を増やす。			評価の観点	【知識・技能】 生涯を見通して、生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組み、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の向上を図るために実践しようとしている。		
				評価方法	学習内容に応じて上記の3つの評価の観点を適切に配分し評価する。 ・定期考査 ・実習作品 ・平常点		
授業内容	1 学期中間 ・生涯を見通す ・人生をつくる ・子どもとともに育つ 1 学期期末 ・住生活をつくる ・経済生活を営む 2 学期中間 ・食生活をつくる 2 学期期末 ・衣生活をつくる ・持続可能な生活を営む 3 学期 ・被服実習			学習方法	プリントで授業を展開していくので、学習したことをその日のうちに復習する。 実習等で実践したことは、家庭でも実践する。 実習を行う際には、時間を意識して自分たちで考え協力しあう。		
				備考			